

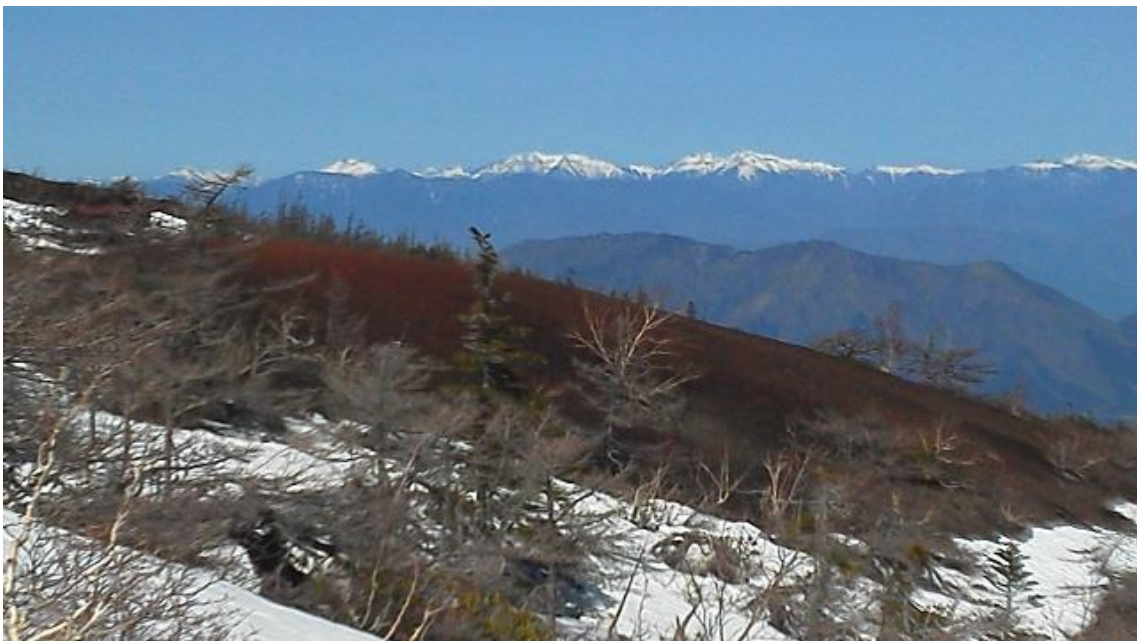
富士山（白草流し）山スキー報告

【山城】 富士山

【日程と天気】 2015年5月1日 晴れ

【メンバー】 菊池単独（AT）

【行程】 富士吉田ースバルラインー御庭駐車場（2230m）ー白草流しー標高 3020mー滑走ー標高 2600mー登り返しー2700mー滑走ー御庭駐車場



・富士山山スキーについては、昨今、滑落事故などの問題点について種々物議を醸しているが、県警に計画書を提出し、十分な装備の下での計画については、県警からの中止勧告はない。今回は山梨県警に計画書を提出、発煙筒も持参した（県警から持参指示が出ている）

・御庭からの白草流しは 2003 年 4 月 27 日に単独で 3250m から滑走した経験がある。北西斜面のため、硬い雪面が緩む時間帯と標高との兼ね合いを考えながらの慎重な行動が必須である。今回は GW 前日の 5/1、中央道の混雑を避けて実施した。



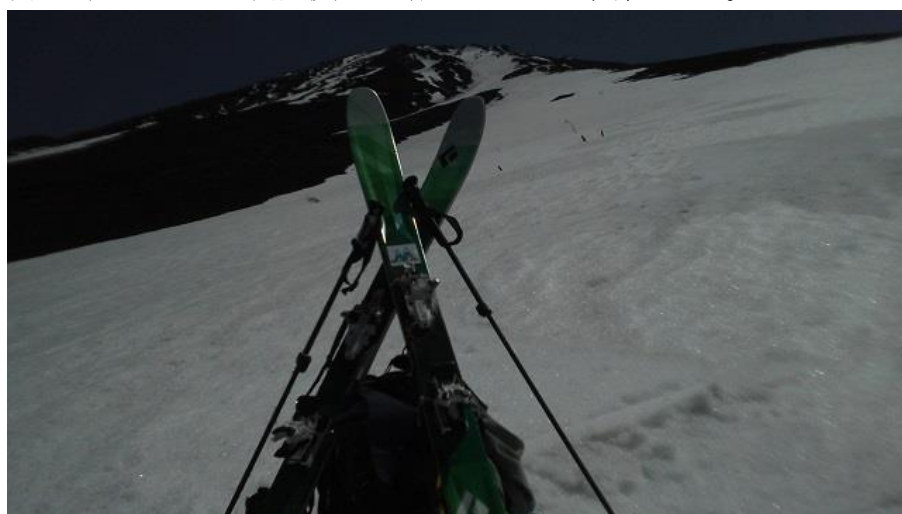
今回は GW 前日の 5/1、中央道の混雑を避けて実施した。

・9 時頃スタート、初めは雪の繋がってないところがわずかにあったが、間もなく快適なシール登高となった。雪面はようやく緩んでくる時間であり、これ以上早い時間の

スタートでは好ましくないと思われた。今年からアルペンを 18 年ぶりくらいに再開、軽量化された AT セットでのシール登高は快適であり、順調なペースで高度を稼いだ。標高 2700m ほどの地点では、風も少し強く雪面の緩みがまだ十分ではなく、予定していた 3000m までの登り上げはきついと思われたが、休憩を取りながらゆっくりペースで行けるところまでと考え直していると、11 時以降になり、漸く雪面の緩みが進み、徐々に急になってきた 3000m まで何とか登り上げることができた。

・3000m まで登り上げ、溶岩の砂礫が露出しているところで休憩、雪面を平らにし、滑走準備をしたが、30 度弱（おそらく 27 度前後）の斜面ではあるが、緊張した。

・上部はさざ波のような細かい凹凸があり、やや硬い急斜面のため、しっかり板に乗ったジャンプ大回りターンで慎重に下った。2800m 位まで来ると、雪面・斜度とも適度に緩み



快適なザラメ滑走となった。ATはテレマークに比べると、筋肉に対する負担は少なく、ハード大斜面も快適に滑走できる。パウダーはテレマークの方が楽しめるが、高齢になり、用具の進歩・軽量化により、快適なアルペンツーリングが楽しめるのである。両刀使いで楽しみましょう。

休憩後、あまりの快適さに標高差 100m 登り返し駐車場に向けてフィナーレのシュプールを刻んだ。累計滑走標高差 800m、独り占めの楽しい富士山山スキーであった。

・数年前までは登頂滑走を目指していた。登頂こそ健康のバロメータと考えており、ちば山仲間を誘い、毎年登頂山スキーを目指した。しかしこの数年、体力的にも、またチャンスにも恵まれず、登頂山スキーは 4 年間途絶えている。最近は体力に応じた快適滑走で十分、富士山山スキーの醍醐味を味わえる心境となってきた。(?) それでも、もう一度はチャンスを狙って登頂山スキーを実現したいのだが!! 増えた体重を、トレとダイエットにより、なんとか減らして、頑張ってみるか??

・ツアー終了後、5 合目駐車場に行ってみると、GW 前ではあるが、中国語や英語が飛び交い、外国人を含め多くの観光客で賑わっていた。

